

大会要項

1 日時

平成28年7月25日（月）

午前の部 8：10（予定） 午後の部 13：15（予定）

※ 今年度は東ブロックを午前の部、西ブロックを午後の部に行う。

※ 午前の部は8：10（予定）から開会式を行う。午後の部は開会式は行わず、13：15（予定）に着席をして「審判長注意」のみ行う。閉会式は午後の部の最終に行う。

※ 選手宣誓は、東ブロック 八坂小学校が行う。

2 場所

松山中央公園プール アクアパレットまつやま

3 競技種目及び出場人数

出場人数 種目	男 子			女 子		
	A 枠	B 枠	C 枠	A 枠	B 枠	C 枠
50m自由形	6名	5名	4名	6名	5名	4名
100m自由形	2名	2名	2名	2名	2名	2名
50m平泳ぎ	5名	4名	3名	5名	4名	3名
100m平泳ぎ	2名	2名	2名	2名	2名	2名
50m背泳ぎ	1名	1名	1名	1名	1名	1名
150mメドレーリレー	3名	3名	3名	3名	3名	3名
200mリレー	4名	4名	4名	4名	4名	4名
計	23名	21名	19名	23名	21名	19名

※ 出場枠は5月1日現在の学校規模（児童数）による。

650人以上→A枠、350人～649人→B枠、349人以下→C枠

4 参加資格及び規定

- (1) 松山市内の小学生であること。
- (2) 健康診断の結果、健康者であること。
- (3) 各小学校を単位として、上記の種目の選手を選ぶこと。
- (4) 一人一種目とするが、リレーは兼ねてもよい。ただし、150mメドレーリレーと200mリレーを兼ねてはいけない。

(5) 各種目とも上記の定数の範囲内とする。リレーは1チームとする。

※ 無理に定数枠一杯にエントリーしなくてもよい。

※ 途中棄権者が少なくなるよう配慮すること。

(6) 学年を問わない。

(7) 申し込み後の選手変更は認めない。棄権の場合は、総体当日の規定の時刻までに所定の用紙に記入し、本部記録員に報告する。

(8) リレーのオーダーは総体当日の規定の時刻までにオーダー用紙に記入して本部へ提出する。

5 表彰

- ・ 泳いだ児童全員に記録証を授与する。
- ・ 東西それぞれ6位までを表彰する。

6 抽選は、松山市小学校体育連盟水泳専門部で責任をもって行う。

7 注意事項

(1) 日本水泳連盟競技規則及び松山市小学校体育連盟大会要項に準ずるが、教育的配慮を十分に加える。「失格」については、「参考記録」として計測する。

(2) 種目開始15分前までに集合場所に集まる。

(3) 全員計測する。(記録を決定するために、全自動計測装置を使用する。)

(4) タイムレースで上位6名を選出し、順位を決定する。同記録の場合は同順位とする。

(5) 記録の判定については、審判長の判定を最終とする。

(6) 異議の申し立ては、監督より審判長へ申し出る。(競技終了後15分以内)

(7) 監督・引率者は、選手・応援児童を責任をもって指導・監督し、使用した場所は掃除して帰ること。なお、引率者は原則として各校2名とする。

(8) プールサイドでは水かけをしない。

(9) ウォーミングアップは開会式前(午後の部は審判長注意の前)にのみ行う。

(10) 座席は本部で割り当てる。

(11) リレーの第1泳者の記録を標準記録突破及び新記録賞の対象とする。ただし、個人種目の着順には影響しない。

(12) スタートについては、全員水中からのスタートのみとする。

ア 背泳ぎのスタートバーを利用し、自由形・平泳ぎは片手、背泳ぎは両手で体を支えて静止する。

イ 足は水中に入れ、両足を壁につけること。(両足の裏すべてを水面下に入れる。)背泳ぎは足が水面に出てよい。

(13) ゴールの時は、タッチ板を強く押す。(自動計測装置の正しい反応のため)

(14) 水着はスクール水着や競泳水着が望ましい。また、水着の形状は次の通りとする。

ア 男子はへそを超えず、膝までとする。

イ 女子は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。

ウ 重ね着は禁止。着用できる水着は一枚のみとする。水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。

エ 素材は繊維のみとする。(ラバー及びパネルを貼ったものは不可)

オ ミサンガ等のアクセサリはつけない。

(15) 通信記録会の上位入賞者は、氏名と記録の情報が新聞社に提供され、冊子・ホームページ等に掲載されたり、ケーブルテレビを含むテレビ局で放映されたりする場合もあることをあらかじめ知らせ、保護者への同意を求める。